

テーマ別まちづくり計画

テーマ1 自治と地域力 多様な住民が地域活動を担うまち

方針1 多様なひとびとが交流するコミュニティづくり

上京区では、マンションに代表される共同住宅世帯や、単独世帯が全世帯の半数を超えるようになりました。しかし、マンション居住者や単身者と地域との交流はあまり進んでいない現状があります。また、小学校区の変更に合わせて、地域同士の交流を進めています。

年齢・性別・国籍・障害の有無に関わらず誰もが人権を尊重され、地域から孤立することなく、暮らしやすい上京区を実現するために、防災・防犯、地域福祉等のあらゆる活動を通じて、お互いに顔が見える関係の構築を進めます。

取組

- 多様な住民と地域との交流を促す取組の推進
- 地域同士の交流の促進
- 身近で気軽に交流できる場づくり
- 区民が交流できる場にふさわしい新上京区総合庁舎の建設と運営

テーマ2 まちの安心・安全 住民が守る安心・安全のまち

方針1 交通安全対策の推進

近年、交通事故の発生件数は減少傾向にありますが、自転車に関係する事故と高齢者が関係する事故の割合は増えています。

上京区では、坂が少ないことから、自転車は便利な乗り物であり、多くのひとに利用されていますが、自転車マナーの低下や、道が狭い上に電柱などがあり、歩行者の安全な通行を妨げていることが、その原因として挙げられます。

そこで、誰もが安心して歩けるまちづくりと幼児から高齢者まで、すべてのひとを対象とした交通安全の取組を進めます。

取組

- 安心して歩くことのできる環境整備の促進
- 自転車と歩行者が共存できるまちづくりの推進
- 交通安全教育と高齢者のための啓発活動の推進

テーマ3 福祉と健康 ともに喜び、支え合うまち

方針1 福祉のひとづくり

すべての区民がお互いを尊重し、より豊かな地域づくりを進めていくには、私たち住民一人ひとりの活動が最も大切です。福祉講座に参加したり、福祉施設を訪問したりする実践活動を通じて、理解を深め、共感できる温かい心を持ち、共に支え合って生きていくことのできるひとづくりに取り組めます。

取組

- 福祉の担い手・創り手の育成
- ボランティア活動の促進
- 福祉教育の推進

方針2 地域での支え合い活動の推進

介護保険制度などの公的な福祉サービスの充実が大切ですが、地域における様々な生活課題にきめ細かく対応するためには、住民自身が中心となって誰もが支援する側、支援される側になることを踏まえた取組が必要です。地域住民が、行政をはじめとする福祉関係機関と連携して、誰もが安心して健やかに暮らすことのできる地域づくりに取り組みます。

取組

- 子育て支援・育児不安の軽減
- 児童虐待予防の取組の強化
- 高齢者、障害のあるひと等への生活支援
- ひとにやさしいまちづくりの推進

方針2 地域力の維持・向上

住民自治の基礎単位である自治会・町内会への加入率が、生活様式の変化や家族規模の縮小、高齢化の進展に伴い、低下しているといわれています。学区単位の住民自治を支えてきた地域力は、すべての活動の基礎です。人口減少、高齢化が一段と進む中、高いレベルを誇る地域力の維持・向上に向けて、若者やボランティア団体と地域とを結び付ける新たな担い手を、地域の中で養成していくことも必要となっています。

特に大学のまちとして学生に積極的に地域活動に参加してもらうための取組を進めます。

取組

- 多様なひとびと、団体の地域活動への参加の機会の確保

方針3 災害時に備えた安心・安全の確保

災害は、人智では防ぐことはできませんが、被害を少なくすることは可能です。誰もが安全に避難できるよう平時からの取組を進めるほか、被災後の避難生活や復旧活動を円滑に進めるための準備を行います。また、住民団体(自主防災組織など)だけでなく、災害に備えて地域の事業所、公共機関とも連携した防災活動を進めます。

取組

- 災害時の安全な避難のための準備
- 災害時の協力体制の推進
- 地域の事業所や公共施設等との災害時に備えた連携体制の構築

方針4 健康づくりの推進

年齢・性別・国籍・障害の有無に関わらず、誰もが健康で幸せに暮らせるまちを目指して、個人の健康づくりの支援はもちろん、地域ぐるみの健康づくりを応援します。

上京区ならではの地域力を生かした健康づくりのネットワーク化のほか、分かりやすい情報の発信、健診・相談の充実、こころの健康に関する取組の推進など、地域に根ざした健康づくりを進めるとともに、結核・感染症の拡大防止、医療安全の推進、食の環境を整備します。

取組

- 地域ぐるみの健康づくり活動の推進
- 結核・感染症対策、医療安全の推進
- 情報発信の充実
- 健診受診機会の拡大や利便性の向上
- こころの健康に関する取組の充実
- 食を取り巻く環境の整備

10年後の目指すべきまちづくりの将来像を表しています。

絆で織りなす
住みよいまち上京

先人の知恵

地域の絆

新しい力

上京区の今ーまちづくりの課題

上京区の今をデータ等で紹介します。

自治と地域力

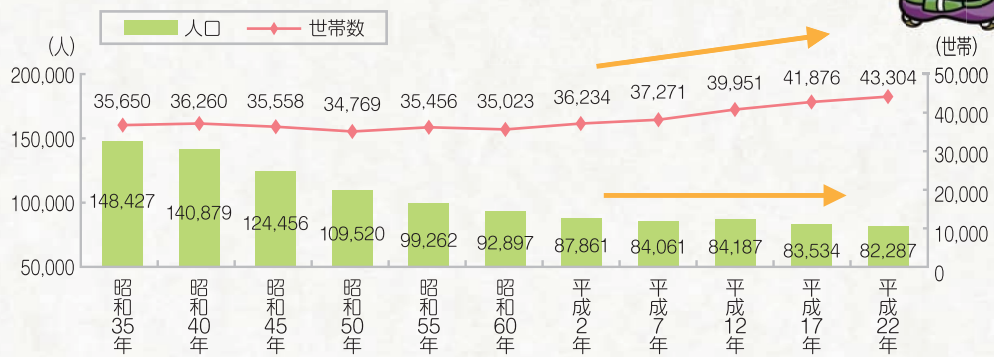
現状

- 平成7年以降人口は横ばい。
- 世帯構成人員の減少により世帯数は増加。
- 単独世帯、共同住宅世帯が過半数。
- 地域力に支えられてきた「安心して暮らせる住みよいまち」の将来に危機。

課題

- 多様な地域活動の担い手によるコミュニティの再生・発展

●人口・世帯数の推移



まちの安心・安全

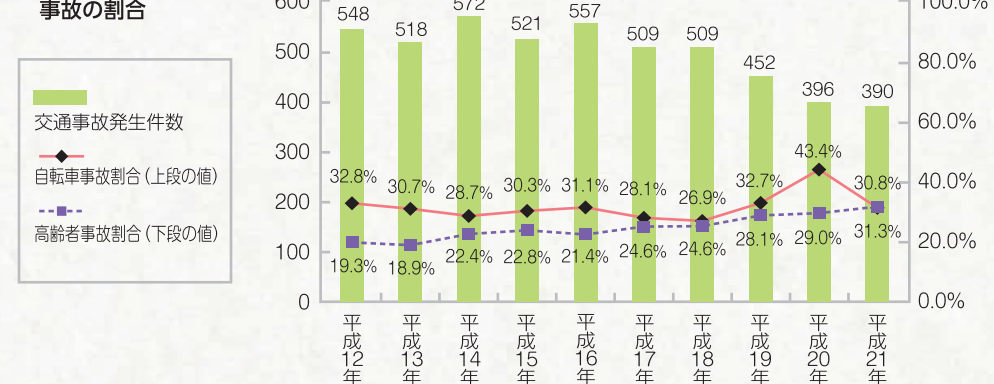
現状

- 交通事故は減少傾向にあるが、自転車・高齢者事故の割合が高い。
- 区内の犯罪認知件数は、平成14年以降減少傾向。
- 区内の火災発生件数は、ピーク時の半減。
- 災害時に自力で非難できないひとが、区内に約3,000人いる。

課題

- 地域一体となった安心・安全の推進

●自転車事故・高齢者事故の割合



福祉と健康

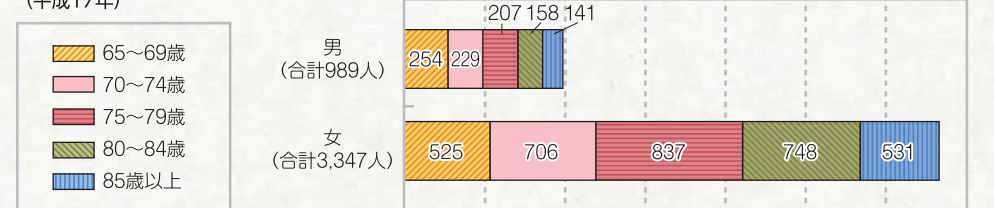
現状

- 高齢化と家族規模の縮小により生活支援を必要とするひとが増加。
- 全世帯数の約10%が高齢単身世帯。
- 子育て支援、経済的支援を必要とする世帯が増加。
- 生活習慣病で服薬をしているひとの割合が高い。

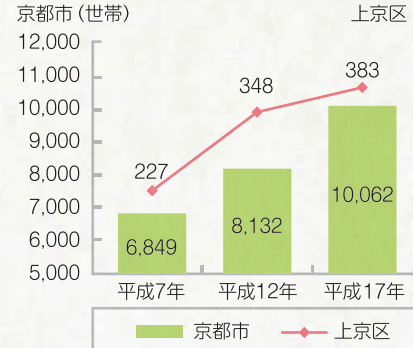
課題

- 誰もが健康で、快適に生活できるための取組の推進

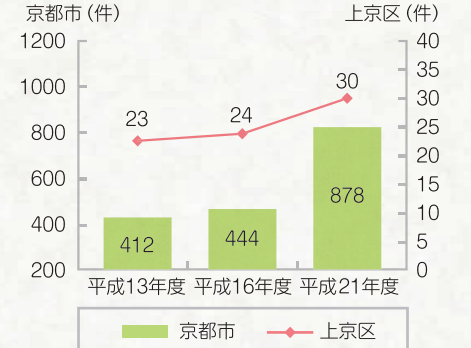
●高齢単身世帯数(平成17年)



●母子世帯数の推移



●児童虐待通告の推移



地域振興

現状

- 製造品出荷額、商品販売額の減少。
- ものづくり・商いのまちから、住宅地へとまちの性格が変化。
- 観光客にはなじみは薄いですが、豊富な観光資源が存在。

課題

- 地域が誇る資源の活用による地域活性化

環境

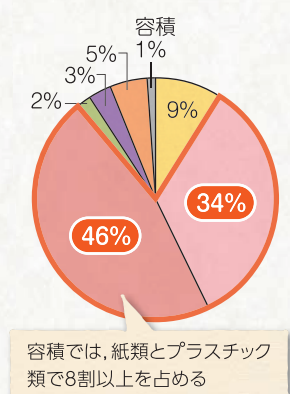
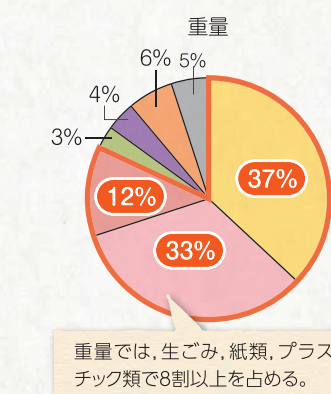
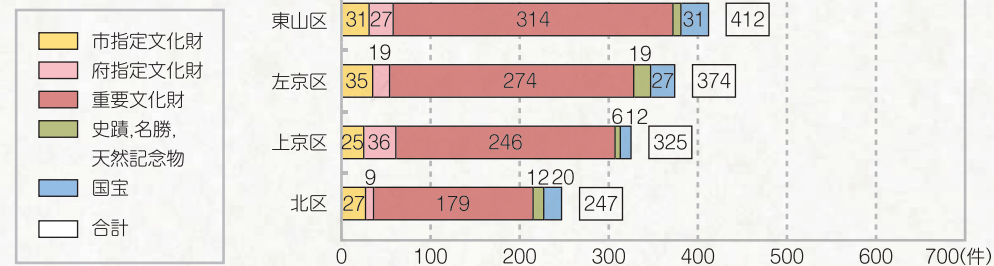
現状

- 地球温暖化対策は始まったばかり。
- ごみの減量は進むが、まだ多い容器包装ごみ。
- 京都御苑、堀川通、鴨川を除くと少ない憩いの場と緑。

課題

- 環境に過度の負荷を与えないための取組の推進

●上位5区の行政区別文化財数(平成21年度)



●家庭ごみの内訳(平成20年度)

- 生ごみ
- 紙類
- プラスチック類
- 草木・木片類
- 繊維類
- ガラス類
- その他